

# 令和元・2年度 第10回高崎市公民館運営審議会 会議録

**開催日時** 令和3年3月5日（金）午後1時30分から午後3時10分

**開催場所** 高崎市中央公民館 集会ホール

**議題**

- 1 令和元・2年度答申について
- 2 令和2年度 高崎市公民館事業実績報告・審議

**公開・非公開区分** 公開

**出席委員**（16人）

吉井良肇委員 ・ 小屋美香委員 ・ 綾部園子委員 ・ 清水明夫委員  
飯野茂委員 ・ 山崎紫生委員 ・ 植原孝行委員 ・ 戸塚光久委員  
山口堅二委員 ・ 中司恵理委員 ・ 丸茂ひろみ委員 ・ 岡田文男委員  
新利恵子委員 ・ 柴山益子委員 ・ 三澤憲一委員

**欠席委員**（4人）

笠原健志委員 ・ 星野雅代委員 ・ 森周子委員 ・ 小見勝栄委員

**成立** 高崎市公民館運営審議会規則 第4条第2項による

**事務局出席者**

藍美香中央公民館長・齋藤崇夫教育担当係長・錦部光樹次長・塚越康弘次長  
大村政彦次長・信澤進次長・角田潤次長・千保木優次長・武政文隆次長  
江積利雄次長・木村智美主査・菅野典子囑託

**傍聴定員** 5人

**傍聴者数** 0人

**所管部課名** 教育部高崎市中央公民館

# 令和元・2年度 第10回高崎市公民館運営審議会 議事録

## 議事

### 1 令和元・2年度答申について

会長： それではお手元の次第に基づきまして進めてまいりたいと思います。よろしく  
お願いいたします。

令和元・2年度の答申についてですが、私の方から経過を少しお話させていただきます。

昨年3月に「新しい地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」という  
諮問を高崎市公民館連絡協議会からいただきました。答申作成の経過を申し上げ  
ますと、この諮問事項について、昨年6月に委員の皆さまからご意見をお寄せ  
いただきました。当初は、委員の皆さまに集まっていただき意見交換をしたいと  
考えておりましたが、新型コロナウイルスが蔓延していたので、文書で意見を寄  
せていただきました。そしてそのご意見を審議会の際にお一人お一人ご発表いた  
だいた次第です。7月に新たに委員になられた方たちにも7月と9月の審議会の  
時にご発表をいただいて皆さまで意見を共有したわけでございます。

これを踏まえまして、昨年8月に10人の委員による専門委員会を立ち上げ  
ました。専門委員会では、大きく6つの柱を設けて、その柱ごとに2人から3人  
で分担しまして、原案を執筆いたしました。

11月末までに集まった原案原稿を整理しまして、さらに検討を加えて答申案  
といたしました。その答申案を1月13日の専門委員会でさらに検討案を作成し  
て、去る2月5日の審議会に提案させていただいたわけですが。

2月5日の審議会では、答申案について、いくつもの貴重なご意見をいただき  
ました。このご意見や指摘は、正副会長にお任せいただいたわけですが、2月5  
日の審議会の後に急遽、専門委員にお残りいただきまして、臨時の専門委員会  
を開きました。その臨時の専門委員会において審議会が出た意見をどんなふう  
に答申に反映するかということを確認しました。その専門委員会の協議を経まし  
て、最終の文章とさせていただきます、本日皆様のお手元に差し上げたところ  
でございます。

以上が経緯についての大まかな説明でございます。

最終答申が出来上がりましたので、高崎市公民館連絡協議会長（中央公民館長）  
にこれをお渡しします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

（諮問文が、会長から高崎市公民館連絡協議会長（中央公民館長）へ手渡される）

答申は、具体的な提案となっておりますので、実現していただくことを切に願っています。

答申作りに関わっていただきました皆様、ありがとうございました。

高崎市公民館連絡協議会長（中央公民館長）： 答申をいただきまして、ありがとうございました。今回の答申でございますけれども、コロナ禍であるからこそその提案をはじめ、大きく6項目に分けられ40の提案をいただいております。大変具体的で、今後の公民館運営の道しるべとなるものと考えておりますので、できることから工夫をして実施してまいりたいと思います。どうぞよろしく願います。皆さま、ありがとうございました。

## 2 令和2年度 高崎市公民館事業実績報告・審議

会長： 次に「令和2年度高崎市公民館事業実績報告・審議」に移ります。それでは事務局から説明をお願いします。

事務局： 「令和2年度高崎市公民館事業実績」について、ご説明させていただきます。

「令和2年度高崎市公民館事業実績」と書かれている冊子をご覧ください。中央公民館と地区公民館の事業を掲載しております。表紙を1枚おめくりください。今年度も「ライフアップ推進事業」、「キャリアデザイン支援事業」、「地域づくり支援・ボランティア養成事業」、「図書ボランティア活動支援事業」という4本柱を掲げ、これに基づき事業を実施しました。

なお、これまでもご説明してまいりましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月18日から5月15日まですべての公民館を臨時休館となっております。また、開館後も、新型コロナウイルス感染症の対策を徹底しながらの公民館運営となっており、実施可能な事業が限られた中での事業実績となっております。また、地域の関係団体と共催で行ってきた事業の多くが中止となっており、地域との連携事業については例年にくらべて非常に少なくなっております。

まず1ページをご覧ください。中央公民館の事業について説明させていただきます。

「ライフアップ推進事業」は、12講座となります。中でも新規の講座で「ふれあいポッチャ」という講座を行いました。延期となってしまいましたがパラリンピックの種目でもある「ポッチャ」を体験する講座を小学生向けに実施して、ポッチャをとおして、初対面の小学生同士、また、指導をしていただいた障害のある方と交流する機会としました。

また、社会課題を考える事業で「おうちで公民館」という動画を配信する事業がございます。別紙でご案内する用紙をお配りさせていただいておりますが、地区公民館で人気のある講座を動画にしてユーチューブで配信する事業を行いました。こちらについては臨時休館となった際に何か取り組めることがないか検討し、実施しました。実際の配信は再開後となってしまいましたが、公民館に来館することが難しい状況の中、各地区公民館の公民館だよりで周知をして見ていただきました。特に「笑いヨガ」の動画は1万回以上再生されています。

続きまして「キャリアデザイン支援事業」は、7講座です。こちらは例年と同じ講座を行っております。

2ページをご覧ください。「地域づくり支援・ボランティア養成事業」については1講座となります。「図書ボランティア活動支援事業」は、各地域で図書ボランティア活動をしている方を対象に図書ボランティアの活動内容のスキルアップを目的におこなっております。今年度は「手作り紙芝居講座」「作って演じるおはなし会講座」を新規で実施いたしました。

「なやみごと相談事業」につきましては、共催する高崎カウンセリング協会や実際に相談を受ける相談員さんと協議させていただき、年度当初から中止させていただいており、現在も休止しております。再開については相談員さんと協議して再開の目途が立ち次第実施することになっております。

3ページをご覧ください。「学校・団体・NPO等との連携」は、ご紹介した事業の中で、連携して実施した事業を掲載しております。

中央公民館の事業については以上となります。

職員の研修体制の充実について4ページをご覧ください。「職員研修」については、地区公民館の館長、主事が参加をした研修会等を掲載しております。今年度は県公民館連合会主催の研修会や研究集会などほとんど中止となってしまいました。主事の研修といたしまして、意欲のある公民館主事が自主的に課題を設定して研究するという「公民館課題研究会」という研修を行っておりまして、今年度は8人の職員が参加しました。別紙で「高崎市公民館課題研究会報告書」をお配りしておりますが、研究内容は、答申でいただいた内容にも関連するものですので、後程、ご一読いただければと思います。また、こちらには記載がありませんが、約4週間に渡り行われる社会教育主事講習は、今年度につきましてはオンラインでの開催となっております、主事1名が受講しています。

続きまして、地区公民館の事業につきまして、説明をさせていただきます。5ページをご覧ください。「学習機会の提供」として、44館で、675講座がおこなわれております。これは12月末現在の集計ですので、年間ではもっと多くなります。新型コロナウイルス感染症の影響で、講座数としては昨年度の6割程度の実施となっております。

「ライフアップ推進事業」は、316講座で、「子育て支援・家庭教育充実事業」、「青少年体験活動支援事業」、「社会課題を考える事業」で、それぞれ講座を掲載させていただきました。「キャリアデザイン支援事業」は、268講座が実施され、「子どもや親子の課題体験教室」、「日本文化や外国文化の理解講座」、「情報社会への対応教室」、「地域伝統文化継承教室」、「能力開発や職業意識の高揚講座」で、それぞれ講座を開催しました。6ページ、「地域づくり支援・ボランティア養成事業」は、91講座が開催され、地域づくり支援とボランティア養成の講座を開催しております。こちらは地域との連携で行う講座が多いため、コロナの影響を強く受けている状況でございます。

7ページ以降は、諸団体との連携事業や特色のある事業を様々な観点から整理したものです。こちらの資料も12月末現在の状況です。1～3月の事業については事業名の後ろに（予定）が入っております。複数の観点を含む事業が多いため、重複して記載しているものが多くあることをご承知置きください。また、連携事業や特色のある事業を掲載しておりますので、地区公民館のすべての事業が掲載されているわけではないことをご承知おきください。

事業の内容につきまして、これまでの答申で提案いただいたことなどについて新しい事業を中心に説明をさせていただきます。

まず始めに小学校との交流について7ページをご覧ください。六郷公民館では「町探検！もっと知りたい私たちの町」として学校と地域、公民館が連携した事業を実施しました。小学校の総合的な学習と連携し、前期の審議会にて提言していただいた地域資源の活用をベースに、実際に地域を巡りながら、子どもたちが地域住民から地域の歴史、安全、環境について学ぶ講座を実施しました。また、講座の開催後に子どもたちが調べたものを、区長会、高齢者サロンなどで回覧して、六郷公民館にも掲示し、地域住民に感想を書いてもらい、それをまた子どもたちに配布することで、地域住民と子どもたち両者にとって学びの機会とすることができました。学校との連携については新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けたものの一つで、今年度は中止した事業が多くありました。来年度以降は学校の状況を見ながら、再び連携できるよう取り組んでいきたいと考えております。

続いて大学との連携について9ページをご覧ください。久留馬公民館では、「久留馬のくるっとまるっとチャンネル」として、高崎経済大学の学生を募り、集まった学生が、地域の防災等をテーマにした動画を作成、ユーチューブで配信するという事業を行いました。現在、4本の動画が配信されております。

10ページをご覧ください。生涯学習推進員と連携した事業の中で、豊岡公民館ではがんについての講座を生涯学習推進員と共催で行っております。これは、豊岡小学校が今年度、がん教育の指定校となっていることに合わせて、県の西部教育事務所と連携して地域全体でがん教育に取り組む、モデル事業の一環として

実施したものです。この講座以外にも地域の方にご協力いただきながら複数の事業を行い、地域全体でがん予防や健康づくりに取り組みました。

12ページにお進みください。地域づくり活動協議会との連携事業がございますが、こちらは例年の4分の1以下となっており、コロナ禍で実施することができなかった部分となっております。

13ページからとなりますが、NPOとの連携や協働はここ数年で定着したものが多く、運動教室やスマホ教室など、それぞれの地域のニーズに合わせた実施内容をNPO法人と共に検討しながら事業を行っています。特にスマホ・タブレット講座については、コロナ禍での必要性もあり、多くの公民館でそれぞれ開催内容を工夫しながら実施されました。

また、特に東公民館ではNPO法人NextGenerationさんと連携し、例年行っている夏休み事業ができない中で、「夏休みヒガシ競技会」として、オンラインでの学習相談や工作の動画配信など様々な取り組みを行いました。

続きまして、関係団体との連携事業について15ページをご覧ください。中川公民館では継続的に地域の防災力を育むための講座を実施しておりますが、そういった取り組みの積み重ねもあり、今年度は初めて、小学校を会場とした校区全体での自主防災訓練が実施されました。

17ページをご覧ください。市などの関係機関との連携事業となります。豊岡公民館では先ほどもお話したがん予防についての講座を県西部教育事務所と共催で実施しました。また、西部公民館では市の保健予防課と連携し、感染症対策の講座を実施しております。

続きまして地域資源を活用した事業として20ページをご覧ください。昨年度より各館で地域の歴史を学ぶ事業などを多く取り組んでおります。先ほどご説明した六郷公民館の「町探検！もっと知りたい私たちの町」をはじめ、箕郷、豊岡、八幡、乗附、国府、上郊などの公民館で地域の歴史を知るための新たに講座が行われました。

地域の人材発掘や育成について、22ページからをご覧ください。各館で主に地域在住の方を講師とした講座に取り組んでいます。24ページの滝川公民館では地域の情報をもとに地域人材を発掘し、講師とする新しい講座に取り組んでおりまして、内容も料理など気軽に参加しやすいものとなっております。

防災・防犯の分野について26ページをご覧ください。各公民館で防災に関する講座を行っています。南八幡公民館では、継続して防災講座を行っておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策も含めて、コロナ禍における避難所運営の体験となりました。また、大学との連携でもお話ししましたが、久留馬公民館では、高崎経済大学の学生が地域の動画を作成、配信しており、内容として防災を取り上げ、実際に避難所となる小学校を舞台に避難所体験をする動画も配

信しております。

29ページをご覧ください。新型コロナウイルス感染症への対応として行った事業をまとめてあります。東部公民館では、「新しい生活様式における子育て術」として、子育てに関する相談会を、ZOOM を利用しオンラインで行いました。今年度は地区公民館数館で ZOOM を利用したオンライン講座行いましたが、来年度は実施館数を増やせるよう取り組む予定となっております。浜尻公民館では地元の病院の院長さんによる新しい生活様式についての講座を行い、非常に好評であったとのことでした。

その他、事業については36ページまで特徴ごとに様々な講座を掲載しておりますので、後程ご覧ください。

次に公民館だよりの工夫についてですが36ページをご覧ください。これまでも各館わかりやすい公民館だよりの作成を心がけましたが、新任公民館職員を対象に公民館だよりづくりに関する研修を行うなど、より良い公民館だよりづくりに取り組んでいます。また、今年度は、先ほどお話しした課題研究会が、「公民館だよりへの地域情報掲載による地域の活性化」をテーマとした研究を行っており、中川、新高尾、北部公民館をはじめとして公民館だよりへの地域情報の掲載に取り組ましました。

図書室の活用について、38ページをご覧ください。城址公民館や上郊公民館などでは、受付周辺に図書を紹介するスペースを設けて利用促進を図っています。

また、図書ボランティアさんがいるとき以外も貸出を行い、できるだけ長い時間、図書の貸出をおこなっている公民館が多くあります。高崎市の公民館図書室は、貸出、読み聞かせを図書ボランティアさんが行っているため、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、活動が難しい状況が続いております。現在でも活動を休止している館もありますので、来年度は状況を見て活動を再開していければと考えております。

イメージ向上のためのロビーや玄関周り等の見直し、工夫について42ページからをご覧ください。各公民館で施設の整理整頓、美化に取り組むとともに、主催事業やサークルが作成した作品や、花を飾ったり、掲示物やチラシの置き方を工夫したりするなど、地域住民が気軽に利用しやすい環境づくりに取り組んでいます。中央公民館などもそうですが、コロナ禍で掲示物がどうしても多くなる中で、できるだけわかりやすく親しみやすい館内掲示を今年度は特に心がけてまいりました。

以上、いくつかの事業・取り組みについて簡単に説明をさせていただきました。各館におきまして、様々な工夫、取り組みがなされておりますので、ぜひ、後ほど他の項目についてもご覧いただければと思います。以上で説明を終わらせていただきます。

会長： ありがとうございます。今ご説明いただいたのは、今年度の12月31日までの実績でございます。

個別の事業についてご説明いただきましたが、皆様からご質問等がございますでしょうか。

ユネスコ協会選出委員： 実に色々なことをしているなと感じました。こういった活動があつてこそ、地域が成り立っているのかなと思いました。特に30ページの「うまくいった・手ごたえがあつた事業」のようなプラス思考で、普段地道に行っていることがこういうところに繋がっていて良いなと思いました。

コロナは予断を許さない状況ですけれども、これからの実績も楽しみにしております。ありがとうございます。

会長： ありがとうございます。今の「うまくいった・手ごたえがあつた事業」についてのご意見で、私の世代ではなかなかこのような発想はなかったですね。どうしてもまずかった点はどこだろうという話になってしまいます。やはり歳をとったなあという感じがしますが、プラス面で見えていくということは非常に重要なことだと思います。

他の方はいかがでしょうか。場合によれば事業に対するご感想でも結構です。

青年会議所選出委員： with コロナの時代の事業ということで、ZOOMを利用した事業をやってらっしゃるということ聞かせていただきました。今期の答申の中でもパソコン講義に対応するWi-Fi環境の整備等についても記載されていますが、今年度のZOOMの事業については、どういったネットワークを利用して展開されたのか教えていただければと思います。

事務局： 今年度行われた事業につきましては、ZOOMを使って行った全ての講座でNPO法人NextGeneritionに講師を依頼したり、一緒に行っていたりしております。通信環境は講師の方がポケットWi-Fiを持ち込んでいただいで使用しております。来年度以降公民館でもポケットWi-Fiのような形を用意し、各館において講座が実施できるよう、公民館の機器を使って行えるような方向で進めていければと考えております。

青年会議所選出委員： ありがとうございます。そのネットワーク環境がもし公民館利用者の方も利用できるようになれば、より一層公民館の可能性が広がると思いますので、ご検討願えればと思います。



会長： 他の方で、ご意見やご感想はございますか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、今日は今期の審議会の最終日となります。この後、審議会では機会を見て高崎市公民館連絡協議会の館長会議に伺って答申のご説明をすることになっています。全員で伺うわけではありませんので、全員の方が顔を合わせるのは今日が最終となります。この審議会にご参加いただいて、どんなことを感じたか、あるいは公民館について日頃考えていることなど、一言ずつお聞かせいただきたいと思いますと思っておりますが、いかがでしょうか。

では吉井委員さんからお願いします。

青年会議所選出委員： 私は高崎青年会議所というところから出向させていただいて、2年間務めさせていただきました。そして審議会に来て、公民館を運営のためにはこれだけ多くの人たちが答申を作られたり、地域に対する思いを持って臨んでいらっしゃるということを初めて知ることが出来ました。知ることによって、これから地域に戻って公民館の運営にどう携わって良いか、改めて考えさせられた機会となりました。2年間ありがとうございました。

会長： ありがとうございます。それでは順次お願いします。

ユネスコ協会選出委員： 自分の住んでいる地域の地区公民館については、それなりに分かるのですが、高崎市全体となると分からないので、こうして運営審議会に参加させていただいたことによって、高崎市の公民館は色々なことを実践しているということを見ることができて良かったと思います。

家庭教育関係者 A： 今期も大変お世話になりました。

実は今日の午前中に中央公民館で講座の講師をさせていただいて、講座を受けてくださる方が元気にしてらっしゃって、本当に人が集うということは大切なことだと改めて思っております。私の方も元気をいただきました。

コロナ禍の中で何もしなければリスクはないわけですが、学びを止めないということで様々な事業をどういったらできるかということを考えながらやってらっしゃることを感じます。毎回この実績報告を見ると、少ない人数でこんなに素晴らしいことを地域でされているんだなと感動しております。

普段は大学におりますので、慣れないオンライン授業をずっとやってきました。やはり直接会えるのが一番良いのですが、オンラインのメリットというのも少しずつ感じていて、自分の研修等でも東京方面にわざわざ行かなくては受けられなかったものが今、自宅で ZOOM を使って受けられるようになって、そういう形の学びも必要なのではないかと思っております。色々なことを考えさせられるコロ

ナでしたので、先ほどの話のように「できない」とネガティブに捉えるのではなくて、できることを考えて「できたこと」というのをしっかり見て、できたところを皆さんで共有し合って行けたら明るい未来があるのではないかなということを感じました。

お世話になりました。ありがとうございました。

家庭教育関係者 B： お世話になりました。私は3期6年お世話になりましたが、今年度退職で大学の方を辞めますので、来年度以降はこちらの方には参加できないかなというふうに思っております。

今年度は大学ではオンラインでの授業をしまして、私は調理実習を担当しているのですが、どうしても「食べること」が入ってきてしまいます。その時にコロナの飛沫を防ぐためには黙って食べることになります。作ったものを一方方向を向いて黙って食べると美味しくないのでよね。そこに会話があってこそ楽しいものだと思います。公民館についても、人との触れ合い、みんなで集まって何かするということが人間らしい生き方として大切なんだと痛感させられました。また高崎の公民館の活動を毎年拝見させていただいて、すごく感銘をうけております。今後、高崎市の公民館が益々発展することを望んでおりますので、よろしく願いいたします。

市議会選出委員： 1年間お世話になりました。私は年度途中から高崎市議会教育福祉常任委員会の委員長の職としてこちらに来させていただきました。先ほど、ほかの委員さんがおっしゃられていたように、自分の地区の公民館活動というのは近くで見えていますが、他の色々な地域の公民館活動に触れることが出来て非常に良かったと思います。公民館をなかなか利用しない世代だとか、あるいは同じ世代の中でも利用する人達というのはやっぱりどこの地域でも差があって、その辺は向き合っていかなければいけない課題なのかなと思いますけれども、こうやって皆さまと一緒に集って考える場があるということは非常に貴重なことだなと感じました。ありがとうございました。

区長会選出委員： 私は地区公民館の館長を11年勤めてまいりました。そして公民館審議委員になって、大変良い勉強になりました。区長を30年くらい勤めているんですけど、今後とも皆さんにお世話になりながら地域活動を行っていきたくと思います。よろしく願いします。

学識経験者 A： 私は3期6年委員として携わらせていただきました。公民館運営審議会がどういう組織で、どういう役割を果たしているか、身をもって経験させてい

いただきました。2年ごとに答申が出ておりますけれども、各答申がその後の各公民館での活動にどれだけ生かされているか気になっておりました。今年度の公民館事業実績にも答申の内容が随所に反映されており、大変うれしく思っております。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

倉渕地区選出委員： 私は2年委員をさせていただきました。大変勉強させていただきました。その中で特に公民館が地域にとって重要な位置づけになっているのだなと感じました。また、各地区公民館で様々な活動をしていることを知ってこれもまた勉強になりました。

色々な課題についても、これからどうやって行くか、どうやればいいのか大事になってくると思いますが、地域の活動を参考にしながらもう一歩前に進んで行ければいいなと思っております。

箕郷地区選出委員： 私も市内の公民館活動を見させていただいて、大変感心しております。公民館も予算的な面や人材的な面で厳しい中で館長さんをはじめ主事さんが中心となって、すばらしいなと思っております。開催する主催講座や地域課題ひとつひとつに対してどれだけつながりを持っていくかということが、地域づくりのベースになっているのではないかと思います。そういう意味でのつながりある活動を今後上手にやっていただけたら良いかなと思っております。大変勉強させていただきました。ありがとうございました。

群馬地区選出委員： 私も公民館運営審議会では6年目の活動となります。群馬地域は元々公民館がなくて、児童館という形で始まっています。私がここに来た時にはまず「公民館ってなんだろう」というところから始まりました。ただ、自分の場合は公民館の中で図書ボランティア活動をしているということと、地域づくりの活動とか育成会でかるたの指導をしているので、公民館を利用している回数はかなり多く、公民館に対して思うこともありますので、自分としても勉強したいと思っておりました。公民館では講座にも参加させていただいておりましたが、特にこの一年、コロナ禍で自分のやっている活動が全然できない状態でした。ただ、育成会のかるたではそんな中でも有志が集まって動画を作成することに至りました。

また図書ボランティア活動では、どこの学校でも休止状態だったなかで、公民館の図書ボランティア活動に近隣の小学校の図書ボランティアさんが入って来ることが多く、この一年はコロナの時代だからこそ色々な変化があったように感じています。変化があった時こそ、色々考えて公民館が地域の中で人と人とを繋

げていかななくてはならないのかなと感じています。地域づくり活動も全くできない中で、こういう状況が人と人とを離れさせてしまいますので、これから公民館がそういったところに力を入れていただくとともに地域に活用できる公民館になるのではないのかなと思います。

新町地区選出委員： 私が委員をしていて今思うことが二つあります。

ひとつは、公民館を活動のために借りるということは皆さんご存じかと思いますが、この審議会に出席してよく分かったことは、社会の課題に向き合うこと、地域の課題に向き合うということが公民館のひとつの役目でもあるということです。そういった活動の場が公民館にはあるということ、地域の住民の皆さまにも利用している皆さまにも分かっていたらいいなと思いました。

それから答申では色々と話し合われてたくさんのご意見が出ましたけれども、このたくさんある提案が話し合いだけに終わらずにぜひ実現に向かうように、私たち自身も努力していかなくてはいけないと思いました。公民館にお願いするだけではなくて、地域のみならず公民館が連携して進められていくといいなと感じました。ありがとうございます。

榛名地区選出委員： 公民館運営審議会の委員を受けた時、自分に務まるのだろうかと思いましたが皆さんとお会いして色々と話をしていくうちに公民館のことが段々とわかってきて、2年間務めることができました。

公民館を利用している人の8割くらいが女性だと思いますが、さらに女性が増えれば男性の参加も増えるのではないかなと思います。これから男性の利用が多くなってくれると嬉しいです、そういったところにも工夫していただければと思います。2年間ありがとうございました。

吉井地区選出委員： 以前、公民館をお借りして「いきいきサロン」というのをしておりました。そこで出会った高齢者の方を通じて、人と人とがつながるということはこういうことなんだと感じております。サロンの運営自体は交代したんですけれども、今でも地域の人と顔を合わせると近況を報告したり、声を掛け合ったりしていて、地域のつながりを感じております。色々な方が地域の人と触れ合うことが大事だなと感じました。

公募委員 A： 大変お世話になりました。

ここ最近では私達の若い頃には考えられないような若者の孤独死、幼児の虐待などがニュースになっております。そのようなことは結局ここで話題になった

コミュニティにおけるコミュニケーションの不足ということから発生するのだと思います。それが今回の答申で地域づくりのための公民館への提案として盛り込まれたので非常に嬉しく思っております。

もうひとつ、公民館の図書室のことですが、各公民館によって購入する新刊がそれぞれ違い、公民館によって特色があるのだと感じました。

最後に、あまりお役に立てませんでした、非常に私自身の勉強になりました。ありがとうございました。

公募委員 B： 私は公募をして委員になったわけですが、長年公民館とは関りが深く、地区公民館の運営推進委員、生涯学習推進委員、観光ボランティアをやっております。さらに地区のことだけではなくて高崎市全体の活動を知ることによって現在行っている活動を高めるためのノウハウを習得したいということもあって応募しました。

また、公民館運営推進委員をしていて公民館に対して感じていることをこういった場で申し上げることによって、多少なりとも良い方向に行けばいいのかなと思ひ、参加させていただきました。

色々な場面で意見を述べさせていただく機会もあり、先ほどの答申につきましても自分の意見を述べることができました。そういったことを通じて忙しくはありましたが、非常に有意義な時間でありました。ここで勉強したことを地元に戻って生かして行ければなと思っております。大変お世話になりました。

会長： ありがとうございました。大変分かりやすい体験談や地域のことを語っていただきました。

最後に私も一言述べさせていただきます。

私は元公民館職員として、最後は高崎駅の近くにある南公民館の職員で定年になりました。公民館主事であったり、教育委員会事務局の社会教育課、青少年課にも勤務しました。今期の公民館運営審議会の委員就任の話をいただき、遠慮しながらも委員をお受けしました。

委員になって実際に各地区公民館を回ってみまして色々話を聞いてみますと、私が勤めていた頃とだいぶ違うということを感じました。

それから答申を作成するにあたって委員の皆さんにご意見を書いてもらいました。副会長と何人ぐらいの方に書いていただけるかという話をしていましたら、たくさんの方からご意見や意見書をいただきました。また、専門委員会を構成して答申原案を執筆してもらいました。これもたくさんの方の原稿を提出していただきました。その答申原案を副会長さんと話し合いながらまとめさせていただいたこ

とも大変思い出深いです。ぜひ答申を現場で活用していただければありがたいな  
と思います。

また、答申には載っていないですが色々なアイデアも出ました。例えば野外  
活動をするにあたって榛名湖畔の市有施設を使ったらどうかという具体的な提  
案をされた方もいましたし、医療法人が行っている無料送迎を公民館でも活用で  
きないかという意見も出ました。それは関係する医療機関に問い合わせたところ  
できないということが分かったんですが、そのような多岐にわたるアイデアを  
出していただいて答申ができたということは大変ありがたいことだったなと思  
います。本当に2年間お世話になりました。ありがとうございました。

それでは最後に中央公民館長からも一言お願いいたします。

中央公民館長： 皆様方お一人お一人から公民館に対する温かいエールをいただいたよ  
うな気持ちがございます。私も昨年4月にこちらに参りましてから、コロナと相  
対して来たわけですが、どちらかという公民館の事業というよりもコロナ対策  
に力を傾けてきたことばかりで、次年度はぜひ今皆様からいただいた言葉を励み  
に公民館事業に取り組んで行きたいという気持ちを新たに持ちました。本当に皆  
様方2年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

会長： ありがとうございました。

それでは以上で議事については終了させていただきます。

では事務局より報告・連絡事項をお願いします。

## 報告・連絡事項

事務局 ・ 前回審議会の会議録及び議事録について

## 閉会

事務局： それでは以上をもちまして、令和元・2年度第10回高崎市公民館運営審議  
会を閉会いたします。皆様お疲れ様でした。